

2022年進捗報告書（実行団体）

- 提出日 : 2022年10月27日
- 事業名 : 地域みんなで産前産後・子育てを応援！！
- 資金分配団体 : 公益財団法人うんなんコミュニティ財団
- 実行団体 : 産前産後ケアはぐ

1 実績値

【資金支援】

アウトプット	指標	目標値	達成時期	現在の指標の達成状況	進捗状況*
妊娠早期からはぐと接点を持つことができ、自主組織や企業さんとの繋がりができる	・定量： ①母子手帳届出者のプレゼントBOX受領割合 ②協賛企業数 ③協働自主組織数	プレゼントBOX受領者が母子手帳届出者の80% 協賛企業数 20社 協働自主組織 30箇所	2023/2/1	①について、雲南省の年間出生数 207 人に対して、BOX 申し込みは 2021 年 9 月～2022 年 9 月の 1 年間で 28 件であった。新聞に記事が掲載された際や、雲南省全戸に新聞折込で PR した際は申込が一時的に増加したことから、当事者(妊婦)にタイムリーに情報が届けることが有効と考える。今後、妊娠中の女性によりリーチできるように、紹介キャンペーンの展開を考えている。 ②雲南省内の企業や店舗 13 社に、プレゼント BOX の協賛品を提供してもらっている ③当初、自主組織との協働とは、LINE オープンチャットに入ってもらってイベントなどの情報を共有する想定にしていたが、LINE オープンチャットの性質上、イベントの告知の投稿が多くなってしまおうと、ママ同士の相談の場としての活用がしにくくなるのではないかという懸念から、「LINE オープンチャットでの繋がりづくり」は一旦休止している。	2

<p>LINE オープンチャットによって、ママどうしの気軽な相談が生まれ、また関係機関の口コミが起きている</p>	<p>・定量： ①LINE オープンチャット登録人数 ②相談件数 ③地域のお役立ち情報の共有件数</p>	<p>LINE オープンチャット登録者 650 人 相談件数 300 件 地域のお役立ち情報の共有件数 300 件</p>	<p>2023/2/1</p>	<p>①LINE オープンチャット登録人数 151 人 新聞折り込み等の周知を行えば増加することから、広報の不足も要因と考える。今後はプレゼント BOX で妊婦向け紹介キャンペーンの展開を考えている。 ②相談件数 32 件 件数は少ないが、お互いを思いやるやりとりが見られる。それを見ることで何かあれば自分も相談できることの認知は進んでいる。現状では、不特定多数で発言することに抵抗の少ない方からの相談が多い傾向であると見ている。 ③地域のお役立ち情報の共有件数 336 件 ①②③は着実に増えていっている。</p>	<p>2</p>
<p>ママチャレンジ応援事業によって、ママがやりたいことに一歩を踏み出すことができ、より多くのママに参加してもらうことができ、より多くのママ同士が顔見知りになっている</p>	<p>・定量： ①寺子屋を開催(自分らしく幸せに生きることの一歩を实践)したママの人数 ②はぐの事業ボランティア参加人数 ③寺子屋の参加人数</p>	<p>ママ寺子屋開催したママの人数 20 人 はぐの事業ボランティア参加人数 100 人 寺子屋の参加人数 500 人</p>	<p>2023/2/1</p>	<p>①2022 年 2 月からママチャレンジ応援事業を開始し、4 人のママに講座やワークショップを開催してもらうことができた。チャレンジの感想では、「自分がやりたいこと、大切にしていることと深く向き合うことが出来た。」「自分がどうしたいか考えるきっかけになった。」という声をいただき、ママの一歩に寄り添う結果を出せた。 ②はぐの事業である、子ども食堂にボランティアで関わった人はのべ 62 人。中学生から高齢者の方まで幅広い年代のボランティア参加があった。その中で、子どもが成人した世代の女性が、他のボランティアや、参加の子供たち・子育て世代と繋がりを作る場となっていることがわかった。 ③寺子屋の参加人数 講座/ワークショップのべ 116 人 子ども食堂のべ大人 212 人子ども 199 人</p>	<p>2</p>

<p>NALU 助産院と共に、ママ達の興味関心に寄り添ったワークショップを開催することで、産前産後について学ぶきっかけを持てる</p>	<p>・定量： ①ワークショップ参加者数 産前産後の NALU 助産院に委託した教室・講座のべ参加者数 ②外に出ていこうとする人の増加 ③周りの孤立しているママに声掛けをする人増加</p>	<p>定量 ワークショップ参加者 420 人 NALU 助産院に委託した教室・講座参加者数 160 人</p>	<p>2023/2/1</p>	<p>①ワークショップ参加者数 15 人 NALU 助産院に委託した教室・講座のべ参加者数 24 人 産前産後の教室やワークショップは参加者が伸び悩んでいるが、プレゼント BOX 応募者が LINE オープンチャットに参加したことで、教室の認知が高まり、受講に繋がっている。 今年度から、より気軽に産前産後の悩み解決や、学ぶ機会を持てるよう Instagram を使ったサブスクのサポートサービスを開始したが、登録者はなく、運営できていない。今後は、妊娠中の女性によりリーチできるように、プレゼント BOX 事業の方で紹介キャンペーンの展開を考えているので、そちらに期待したい。 ②はぐチャレンジに挑戦して、教室を開いたママが 4 人に増え、はぐの呼びかけで活動されるようになったママが増えた。 活動するママが増えたことで、これまではぐに接点がなかったママの参加も増えた。 ③については、双子ママサークルのメンバーは、雲南市に 3 つ子を育てているママがいることを知り、繋がりをもち、助けになることはないか模索している。また、他のメンバーも、双子の出産に前向きになれるガイドブックの制作を進めている。</p>	<p>3</p>
---	--	---	-----------------	--	----------

産後ケア事業を NALU 助産院に委託し、産後も元気に過ごせるママが増える	<p>・ 定量：</p> <p>①産後ケアのべ利用人数</p> <p>②産後うつの減少（虐待減少）</p>	産後ケアのべ利用数 100 人 産後うつ（エジンバラ 9 点以上）5%減	2023/2/1	<p>①産後ケアのべ利用人数のべ 23 名</p> <p>妊婦さんが LINE チャットに参加することで、産後ケアの認知が図れ、教室受講から産後ケアの利用される導線ができつつあり、産後ケア利用者が増えてきている。</p> <p>行政保健師との地域での産後ケアについて、意見交換の場を設けれ、連携も進みつつある、</p> <p>②産後うつの減少</p> <p>対象地域(雲南市)のエジンバラ点数のデータを確認していないため、評価できず</p>	2
地域連携事業により、協働が生まれ始めている	<p>・ 定量：</p> <p>①親子でいける場所の増加</p> <p>②自主組織の子育て世代イベント参加者増加</p> <p>③リストや取り組み内容のファイル・リーフレットが共有されている関係機関の数</p>	<p>定量</p> <p>親子で行ける場所 10 箇所</p> <p>自主組織の子育て世代イベント参加者 1500 人</p> <p>連携先との協議 5 団体</p> <p>地域で頼れる人がいる 50%</p>	2023/2/1	<p>① 3</p> <p>②自主組織のイベントはオープンチャットで告知しているが、それについての連携及び人数の把握はできていない。</p> <p>一方で、はぐもぐ食堂での音楽コンサートや食育活動など、子育て世代と手をつなぎたい地域の活動者/団体と直接連携することは生まれている。</p> <p>はぐもぐ食堂をすることで、雲南市及び島根県の社会福祉協議会とも連携を深められている。</p> <p>③マンパワーが不足しており、関係機関とのファイルなどの共有はできなかったが、はぐのチラシなどを市内 27 箇所に設置できた。</p> <p>産後白書の作成にあたり、市内の民間シンクタンクやコミュニティ財団との協働が生まれ、地域で子育て支援をしていく連携がうまれつつある。</p>	2

* 進捗状況：1 計画より進んでいる、2 計画どおり進んでいる、3 計画より遅れている、4 その他

② 事業進捗に関する報告

1.事業計画に掲げた短期アウトカムの達成の見込み
2.概ね達成の見込み
2.アウトカムの状況
A:変更項目 <input checked="" type="checkbox"/> 変更なし <input type="checkbox"/> 短期アウトカムの内容 <input type="checkbox"/> 短期アウトカムの表現 <input type="checkbox"/> 短期アウトカムの指標 <input type="checkbox"/> アウトカムの目標値
3.活動に関する報告
<p>・双子ママサークル/ぱびこのメンバーが、雲南市に3つ子を育てているママがいることを知り、そのママにリーチしようと模索している。また、他のメンバーも、自身の双子妊娠時に感じた経験を基に、多胎児ママが妊娠や出産に前向きになれるガイドブックの制作を進めている。双子ママ達と手を繋ぎ、経験をシェアし、支え合う活動を主体的に進めることができている。</p> <p>・鬱で休職中の女性が、てらこ屋の講座に参加されたことをきっかけにはぐと繋がり「自分も音楽を通して、子育て中の女性を元気にしたいんです」という想いを伝えて下さったので、そこから、はぐでの親子向けの音楽コンサートの開催に繋ぐことができた。</p> <p>・プレゼント BOX 事業の結果、妊婦さんが LINE チャットに参加することが増えた。そこで産後ケアの認知が図れ、教室受講から産後ケアの利用される導線ができつつあるため、産後ケア利用者が増えてきているという好循環が生まれてきている。</p> <p>・産後白書の作成にあたり、産後白書の作成にあたり、市内の民間シンクタンクやコミュニティー財団との協働が生まれ、地域で子育て支援をしていく連携が生まれつつある。</p> <p>・行政保健師と、地域での産後ケアについて意見交換の場を設けることができた。今まで行政との連携に課題感を持っていたが、今後も意見交換の回数を重ねていく予定もあり、連携が進みつつと感じている</p> <p>・はぐもぐ食堂が、参加する親子の交流の場となっていることに加え、ボランティアで参加する学生や、子どもが成人した世代の女性の繋がり作りの場になっていることもわかった。学生と子ども達、ボランティア同士も顔見知りになり、月1回のボランティア参加を楽しみにしてもらっている。</p>
6.新型コロナウイルス感染拡大に対して、事業活動を行う際に工夫した点
<p>新型コロナウイルス感染が心配で、講座に来られないママ達が産前産後の知識を得たり、気軽に相談できる場として、オンラインで個別相談できるサービス構築をNALU助産院に依頼し運用している。</p> <p>子ども食堂事業では、密を避けるため、子供たちと調理するやり方を中止し、あらかじめ作っておいた食事を販売して会場（屋外も含む）で分散して食事が出来るようにした。イベント参加者には連絡先を聞くなど基本的な感染対策はとっている。</p>

③広報に関する報告

シンボルマークの使用状況																																																	
<input checked="" type="checkbox"/> 自団体のウェブサイトに表示している <input checked="" type="checkbox"/> 広報制作物に表示している <input type="checkbox"/> 報告書に表示している <input type="checkbox"/> イベント実施時に表示している <input type="checkbox"/> その他 →「その他」を選択した場合は記載してください（自由記述）：																																																	
広報																																																	
1.メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB等） ・7/1 特集「お産はやっぱり不安？不安も希望もまずは「書く」ことで自分自身を見つめ直してみよう」 JAしまねこども倶楽部通信 1500部発行 ・12/3 子育て応援プレゼントBOX 山陰中央新報 185,000部 ・8/8 雲南夢ネットケーブルテレビジョン出演 2.広報制作物等 2021年度 <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>・スタッフ用名刺</td> <td>5/29</td> <td>500枚</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・はぐもぐ食堂用チラシ</td> <td>5/30</td> <td>200部</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・はぐもぐ食堂用チラシ</td> <td>6/23</td> <td>300部</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・LINE事業ポスター</td> <td>8/5</td> <td>20枚</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・はぐもぐ食堂用チラシ</td> <td>8/16</td> <td>2000部</td> <td>（市内小学校全配布）</td> </tr> <tr> <td>・LINEBOX用挨拶文チラシ</td> <td>9/7</td> <td>200部</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・LINEBOX用クーポン件</td> <td>9/7</td> <td>200部</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・スタッフ用名刺</td> <td>10/8</td> <td>100部</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・双子サークルチラシ</td> <td>10/12</td> <td>300部</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・スタッフ用名刺印刷</td> <td>11/17</td> <td>300部</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・LINEBOX用挨拶分チラシ</td> <td>12/20</td> <td>100部</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ママ・プレママLINEグループ加入・プレゼントBOX 宣伝用折り込みチラシ</td> <td>12/28</td> <td>10000部</td> <td></td> </tr> </table>		・スタッフ用名刺	5/29	500枚		・はぐもぐ食堂用チラシ	5/30	200部		・はぐもぐ食堂用チラシ	6/23	300部		・LINE事業ポスター	8/5	20枚		・はぐもぐ食堂用チラシ	8/16	2000部	（市内小学校全配布）	・LINEBOX用挨拶文チラシ	9/7	200部		・LINEBOX用クーポン件	9/7	200部		・スタッフ用名刺	10/8	100部		・双子サークルチラシ	10/12	300部		・スタッフ用名刺印刷	11/17	300部		・LINEBOX用挨拶分チラシ	12/20	100部		・ママ・プレママLINEグループ加入・プレゼントBOX 宣伝用折り込みチラシ	12/28	10000部	
・スタッフ用名刺	5/29	500枚																																															
・はぐもぐ食堂用チラシ	5/30	200部																																															
・はぐもぐ食堂用チラシ	6/23	300部																																															
・LINE事業ポスター	8/5	20枚																																															
・はぐもぐ食堂用チラシ	8/16	2000部	（市内小学校全配布）																																														
・LINEBOX用挨拶文チラシ	9/7	200部																																															
・LINEBOX用クーポン件	9/7	200部																																															
・スタッフ用名刺	10/8	100部																																															
・双子サークルチラシ	10/12	300部																																															
・スタッフ用名刺印刷	11/17	300部																																															
・LINEBOX用挨拶分チラシ	12/20	100部																																															
・ママ・プレママLINEグループ加入・プレゼントBOX 宣伝用折り込みチラシ	12/28	10000部																																															

- ・季刊誌 No.2 3/3 1000 部
- ・ロゴ入りユニフォームポロシャツ 1/14 12 枚
- ・はぐもぐ食堂用ロゴ入りエプロン 9/9 5 枚
- ・ロゴバッチ 11/17 330 個
- ・はぐホームページ 9月リリース <https://hagu-web.studio.site/>

2022 年度

- ・はぐ A5 チラシ 5/16 1000 部
- ・白書アンケートチラシ 9/7 1800 部

3.報告書等

なし

4.イベント開催等（シンポジウム、フォーラム等）

なし

添付資料

活動の写真（画像データは1枚2MG以下、3～4枚程度）

はぐもぐ食堂での音楽コンサートの様子



ママのためのてらこ屋の開催の様子



はぐチャレンジ1期生の初めての講座開催の様子

